

ケーブルテレビ 5G本格始動!

いよいよスタートするケーブルテレビのローカル5G、
免許取得各局のビジネス・設備・戦略

日本ケーブルテレビ連盟 渡辺理事長／5Gはケーブル業界の「新しい柱」	38
グレーブ・ワン 柴垣社長に聞く／7月2社・9月5社が免許取得へ	40
5Gでブロードキャスト映像配信／無線プロトコル「FeMBMS」動向	41
免許取得ケーブルテレビのトップ2社／ローカル5Gのビジネス戦略	42
ノキア／既存FTTHを活用、E2Eのローカル5Gソリューション	44

ついにケーブルテレビ事業者がローカル5G無線局免許を取得した。今秋にはさらに複数事業者の免許取得が続く見込みだ。業界の先頭で免許を取得したケーブルテレビ事業者は、どのような戦略・事業計画で臨むのか。日本ケーブルテレビ連盟、業界統一コアの戦略、技術・仕様動向、最新ローカル5Gソリューションとともに特集でレポートする。(渡辺 元・本誌編集長)

日本ケーブルテレビ連盟 渡辺理事長 インタビュー

5Gはケーブル業界の「新しい柱」 この1年間で最も重要な時期だ



渡辺克也 Watanabe Katsuya
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 理事長

1961年東京都生まれ。84年郵政省入省、2005年総務省総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課長、07年電波部移動通信課長、08年電波政策課長、11年情報通信国際戦略局情報通信政策課長、13年大臣官房審議官(情報流通行政局担当)、15年総合通信基盤局電波部長、17年総合通信基盤局長、18年総務審議官、19年顧問、20年一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 理事長に就任。

今年6月に日本ケーブルテレビ連盟理事長に就任した渡辺克也・元総務審議官は、総務省では電波部長など電波行政を主導してきた。「無線サービスをケーブルテレビ業界の新しい武器、新しい柱にしたい」と語り、日本ケーブルテレビ連盟で無線事業の強化に取り組む考えだ。ケーブルテレビ業界におけるローカル5G事業の重要性や可能性などについて、渡辺理事長にインタビューした。

(取材・文：渡辺 元・本誌編集長)